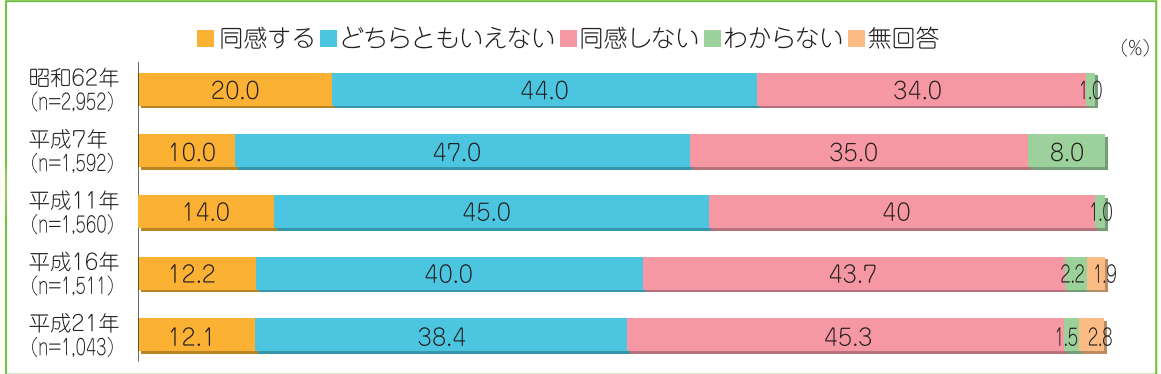




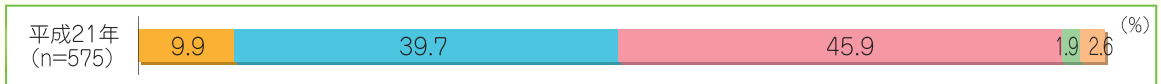
データから見ゆる男女共同参画社会 「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的性別役割分担意識)

大分県全体では半数近くが同感していないが、男女別では男性の方が同感する割合が多い。

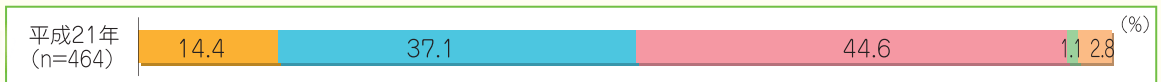
全体
(大分県)



女性
(大分県)



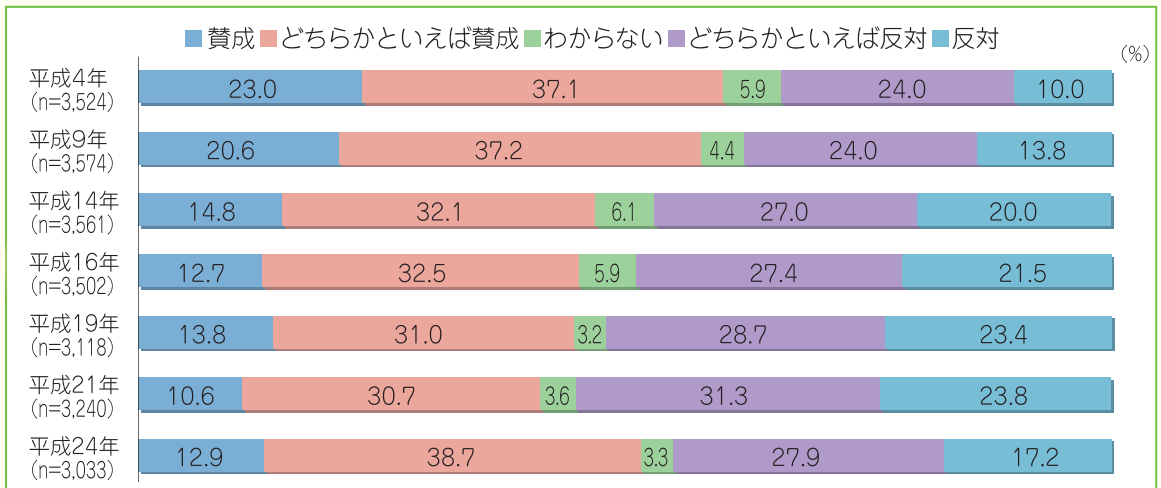
男性
(大分県)



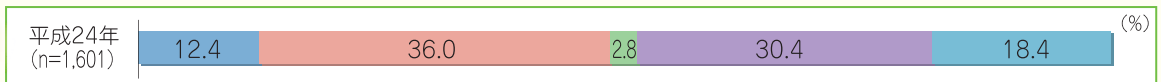
資料：大分県「男女共同参画社会づくりのための意識調査」(平成21年度)

全国では平成16年度以降、反対とどちらかといえば反対の合計が、賛成とどちらかといえば賛成の合計を上回っていたが、平成24年度調査では逆転している。

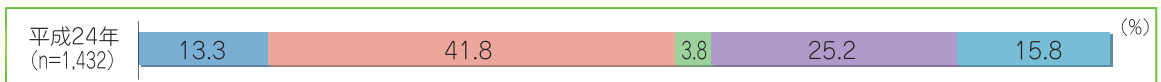
全体
(全国)



女性
(全国)



男性
(全国)



資料：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年度)



● **固定的性別役割分担意識**とは、「男は仕事、女は家庭」というように、性別を理由として役割を固定的に考えることです。
(県の目標) 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合を平成27年度までに65%にすること (平成21年時点45.3%)